

あやめ “花いっぱい”

プロジェクト

No. 003 中央コミセン あやめ“花いっぱい”プロジェクト通信 2021年4月

街中を
あやめの花で
いっぱいに

プロジェクト本格始動! 2021の活動がスタートです!!

中央地区の街中をあやめの花でいっぱいにすることを旨とする中央コミセンのプロジェクトは2年目になって本格始動です! 5月下旬までにあやめの鉢70個を配置していく予定です(目標)。3月発行のコミセンだより「みなく〜る」を見て、あやめのオーナーに申し込んでくださった皆さん、ありがとうございました。まだまだ、協力して下さる方(オーナー)を募集していますので、個人や団体などでの申し込みをお待ちしています。一緒にあやめの花を育てて、長井の街を盛り上げていきましょう!



屋内の鉢(掲示板前)

コミセンのあやめ(花菖蒲)も新しい葉が出てきました♪

夏の講習会やあやめ公園でのボランティアでもらった「絢娘」「葉山の雪」「萩小町」「かすり乙女」「古紫」は鉢に植えて屋内と屋外(玄関)で冬を越しました。冬の間は枯れているのではないかと心配になりましたが、どれも新しい葉が出てきて、中でも屋内に置いていた「絢娘」はグングンと葉を伸ばしています。プランターと花壇の「尾瀬」「京小袖」「ローズプレリユード」の3種類も外で雪をかぶっていたのに元気に新しい葉を出してくれました。春肥と殺虫剤も完了。花芽がつくのが楽しみです。



外で冬越ししたプランター

協力者(オーナーさん)募集中! 庭先に! 通り沿いに! 会社やお店の前に!



中央コミセンでは、あやめを育ててくれる方を募集しています。個人はもちろん、地区や商店街などの団体も大歓迎です。ご登録いただいた方には、あやめ苗とプロジェクトの鉢をお渡します。また、育て方の学習会などもご案内します。

お申し込みはお電話で!

中央コミセン 84-5869

FAX 番号は電話と同じです。

Mail: chuou-k@jan.ne.jp



どんな土や場所がいいの?

日当たりがよく、午後の日差しが少ない、あまり乾かないところが最適です。普通の草花が育つ土質なら大丈夫。小砂利交じりの粘質なら理想的です。アルカリには弱いので石灰、草木灰、苦土石灰などは絶対に使用しないでください。pH5~6度が適地です。

春はズイ虫に注意!

雪が消えたら枯葉を取り除きます。春先に芽が5~6cmになるとズイ虫(メイ虫)が入り込むので浸透移行性殺虫剤を適量撒いてください。2週間後と花が終わった頃にも1回ずつ撒いてください。長井では5月初旬~中旬に被害を受けやすいので気をつけましょう。

あやめ
(花菖蒲)の
育て方
【春夏編】

ポイントは浅く植える!

できるだけ浅植えにしてください。根が隠れ、株が倒れない程度で良いので、思い切って浅く植えます。深植えすると分割できなくなり、新しい株が増やせません。

春から夏まではこんな感じで

春に芽が動いたら、株にひとつまみ程度の肥料(緩効性肥料など)を与えてください。夏までの間に肥料をやりすぎると花芽分化に悪影響を及ぼすことがあります。また気温が30℃を超えると生長が止まるので、肥料をやっても効果はありません。春から夏にかけては水を切らさないでください。特に、植え替え後は朝と夕方に十分すぎるほど水を与えなければなりません。



資料提供:長井市(抜粋)

